

平成27年3月5日

大山町議会議員 野口 俊明 様

10番 大山町議会議員 近藤 大介



## 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 40 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 不健康な国保会計で町民の健康が守れるか</p> <p>国保会計は平成21年度から単年度赤字が続いている。</p> <p>にも関わらず、この間、景気低迷を理由に税率見直しは後回しになり、3億円以上あった基金で、その赤字を補てんしてきた。</p> <p>国保会計は独立採算が原則であるが、平成27年度において、ついに基金は底をつき、一般会計から5000万円もの金額を繰入しなければならないほど、不健全な会計になった。</p> <p>町民の健康を守るための国保会計が、不健康な状態で、本当に町民の健康を守れるのか。</p> <p>1) 27年度において、早々に税率据え置きを決めた理由、経緯は。</p> <p>2) これまで、町長は、法定外繰入はしないと、ずっと言ってきた。これまで法定外繰入をしなかった理由は何か。そして、今回、法定外繰入をする理由は。</p> <p>3) 国保会計緊縮のため、平成27年度は、人間ドックの新規申し込みを受け付けないということだが、去年、一昨年に格安でドックを受けた人との不公平が生じることをどう考えるか。</p> <p>4) 国保会計の健全化に向けた取り組みを今後、どう図っていくか。</p> <p>5) 大山町の国保会計は、現状で破たんしていると言っていい。その責任をどう考えるか。</p>	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育委員長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>2. 行財政改革の取り組みについて</p> <p>平成27年度から、交付税が徐々に減額される中、一般会計では、109億円と前年より1割大きい予算が提案された。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 予算がこれほど膨れ上がった理由は。</li> <li>2) 新年度予算の交付税の減額は7千万円だが、早速、基金の取り崩しが3億2千万円増えた。この調子で基金を崩していけば、55億円の基金はあっという間に底をつくが、5年後の一本算定時の大山町の財政状況をどのように推測しているか。</li> <li>3) 第3次行財政改革大綱および集中改革プランの、成果と課題は。</li> <li>4) 今後5年間で、交付税が逡減していくことへの危機感が、職員にも町民にも不足していると考えますが、町長の認識は。</li> <li>5) 施政方針で4本柱の「アクション・チャレンジ大山町」を掲げられたが、この取り組みの終期、予算規模、財源の裏付けは。</li> </ol>	町長

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育委員長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。